

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 078	提案機関名 県西地域県政総合センター
要望問題名 住宅や道路等に近接する森林の整備及び管理等に係る技術指針又は手引きの作成	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 森林に隣接する宅地、農地、道路等は、森林にとって保全対象である場合もあるが、一方で日常的に、森林から日照障害、枝の越境などの影響を受け、倒木、落枝、落石、土砂崩れ等のリスクを負っている。森林の樹木の生長（大型化）や、病虫害によりこれらの問題はより大きくなる。 宅地等に隣接した森林（以下、施設等隣接林という。）では、一般的な森林施業のほか、危険木の伐採、枝切りなどの作業を行った上で、現地状況にあった森林状態を維持する必要がある。不適切な作業で危険性を高めることが無いよう、地形、標高、隣接地との関係、樹種、樹勢、樹形、作業時期や法規制（保安林等）などについて、十分に調査し、施工方法を含めて総合的に検討する必要があるが、その考え方が整理、共有されているとはいいがたい。施設等隣接林整備の技術的な指針として、神奈川県広葉樹林整備指針があるが、発行から年数が経過しており、新たな知見・技術、微地形表現図の活用、他県を含めた近年の災害事例など、これまでの状況変化を反映し、行政機関職員や林業事業者などが、具体の整備、関係計画策定や運用、法規制の運用などに活用できる技術的指針（または手引き）の作成を要望する。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	研究企画部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	自然環境保全センターの研究部門では、令和8年度までに取り組む研究課題等を定めた試験研究推進構想を令和5年3月に改定したところですが、要望されている内容を研究課題として設定しておらず、担当できる研究員も配置していない状況です。 対応については、森林整備業務等を所管する森林再生課や水源環境保全課と調整してまいります。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			